

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 06-035783

(43)Date of publication of application : 10.02.1994

(51)Int.Cl.

G06F 12/00

G06F 1/00

G06F 15/00

G07C 9/00

(21)Application number : 04-189328

(71)Applicant : SHARP CORP

(22)Date of filing : 16.07.1992

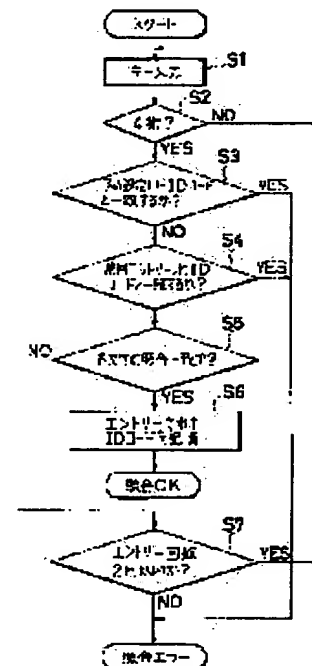
(72)Inventor : OHATA TOMOKAZU

(54) ID CODE COLLATION DEVICE

(57)Abstract:

PURPOSE: To obtain an ID code collation device which is capable of preventing the unfair use of an ID code by collating each figure or each character forming ID codes, individually.

CONSTITUTION: Whether an inputted key coincides with a preliminarily set ID code or not, is identified (S3). When coincidence is obtained, a processing is terminated as a collation error and when coincidence is not obtained, whether it coincides with the ID code entered the previous time or not, is identified (S4). When coincidence is obtained, a processing is terminated as a collation error, and when coincidence is not obtained, whether coincidence is obtained or not by collating each character, is identified (S5). When coincidence is obtained, the ID code which was entered is stored (S6), a processing is terminated as a collation OK. When coincidence is not obtained by collating each character, whether the number of times of entry is within two times or not, is identified (S7), and when the number of times of entry is more than three times, a processing is terminated as a collation error.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

(19)日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

特開平6-35783

(43)公開日 平成6年(1994)2月10日

(51)Int.Cl. ⁵	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
G 0 6 F 12/00	5 3 7 D	8526-5B		
1/00	3 7 0 E	7165-5B		
15/00	3 3 0 A	7459-5L		
G 0 7 C 9/00	Z	9146-3E		

審査請求 未請求 請求項の数1(全 5 頁)

(21)出願番号 特願平4-189328

(22)出願日 平成4年(1992)7月16日

(71)出願人 000005049

シャープ株式会社

大阪府大阪市阿倍野区長池町22番22号

(72)発明者 尾畑 知和

大阪府大阪市阿倍野区長池町22番22号

シャープ株式会社内

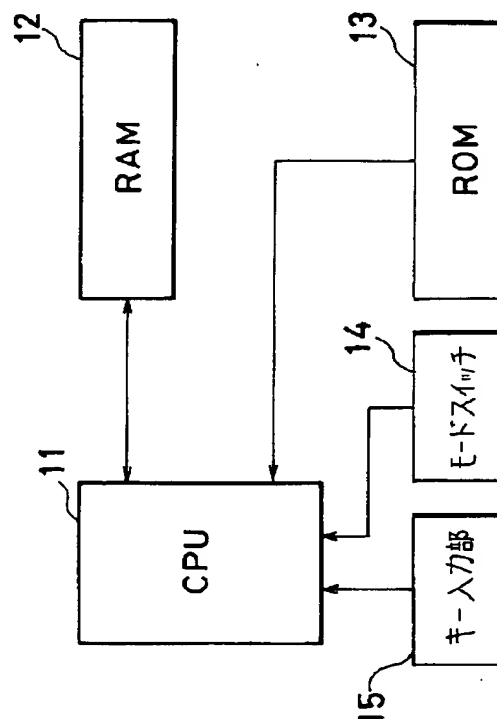
(74)代理人 弁理士 川口 義雄 (外1名)

(54)【発明の名称】 IDコード照合装置

(57)【要約】

【目的】 IDコードの不正使用を防止できるIDコード照合装置を提供する。

【構成】 予め設定されたIDコードを記憶するランダム・アクセス・メモリ(RAM)12と、IDコードを入力するキー入力部15と、IDコードを形成している各数字または各文字を個々に照合することによってランダム・アクセス・メモリ(RAM)12に記憶されているIDコードとキー入力部15から入力されたIDコードを照合する中央処理装置(CPU)11及びリード・オンリー・メモリ(ROM)13とを備えている。



1

【特許請求の範囲】

【請求項1】 予め設定されたIDコードを記憶する記憶手段と、IDコードを入力するIDコード入力手段と、前記IDコードを形成している各数字または各文字を個々に照合して前記記憶手段に記憶されているIDコードと前記IDコード入力手段から入力されたIDコードとを照合する照合手段とを備えていることを特徴とするIDコード照合装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は、IDコードの不正使用を防止することができるIDコード照合装置に関する。

【0002】

【従来の技術】 図4は、従来のIDコード照合装置の一構成例を示す、図4のIDコード照合装置は、中央処理装置(CPU)21、CPU21に接続されており予め設定されたIDコードを記憶するランダム・アクセス・メモリ(RAM)22、CPU21に接続されておりキー操作、IDコードの照合手順をプログラムしたリード・オンリー・メモリ(ROM)23、及びキー入力部24によって構成されている。

【0003】 図4の従来のIDコード照合装置は、例えば、予め設定したIDコードが“1234”の4桁の数字である場合、キーエントリーしたIDコード4桁が、連続した数字として完全に一致するかまたは一致しないかを照合するように構成されている。

【0004】 次に、図5のフローチャートを参照して、図4の従来のIDコード照合装置の動作を説明する。

【0005】 まず、キー入力部24によりIDコードをキー入力し(ステップT1)、入力されたIDコードが4桁か否かを判別し(ステップT2)、上記ステップT2でYESの場合、即ち入力されたIDコードが4桁であると判別されたならばIDコードが一致するか否かを判別し(ステップT3)、上記ステップT3でYESの場合、即ちIDコードが一致すると判別されたならば照合OKとして操作を終了する。

【0006】 他方、上記ステップT2でNOの場合、即ち入力されたIDコードが4桁ではないと判別されたならば、上記ステップT1に戻る。

【0007】 また、上記ステップT3でNOの場合、即ちIDコードが一致していないと判別された場合には、エントリー回数が3回以上であるか否かを判別し(ステップT4)、上記ステップT4でYESの場合、即ちエントリー回数が3回以上である場合には、上記ステップT1に戻り、上記ステップT4でNOの場合、即ちエントリー回数が3回未満である場合には照合エラーとして操作を終了する。

【0008】 図6は、図4の従来のIDコード照合装置に適用される従来のモードスイッチを示す。

【0009】 図6のモードスイッチは、OP、MA、及

2

びSRVの3本の鍵によって各々の回転位置が機械的に決定され、その回転位置に応じた操作を行なうことが可能である。

【0010】

【発明が解決しようとする課題】 しかしながら、上述した従来のIDコード照合装置では、IDコードを忘れないために、何かに記憶するかまたは誕生日等の覚え易い数字を選択して使用したり、あるいはIDコードキーエントリー中にエントリーした文字を見られる等、第3者にIDコードを知られる機会が極めて高く、このIDコードを第3者が知り得た場合には、照合するIDコードとエントリーしたIDコードが固定されているために不正使用される可能性が極めて大きいという問題点があった。

【0011】 本発明は、上記従来のIDコード照合装置における問題点に鑑み、IDコードの不正使用を防止できるIDコード照合装置を提供する。

【0012】

【課題を解決するための手段】 本発明は、予め設定されたIDコードを記憶する記憶手段と、IDコードを入力するIDコード入力手段と、IDコードを形成している各数字または各文字を個々に照合することによって記憶手段に記憶されているIDコードとIDコード入力手段から入力されたIDコードを照合する照合手段とを備えているIDコード照合装置によって達成される。

【0013】

【作用】 本発明のIDコード照合装置では、記憶手段は予め設定されたIDコードを記憶し、IDコード入力手段はIDコードを入力し、照合手段IDはコードを形成している各数字または各文字を個々に照合することによって記憶手段に記憶されているIDコードとIDコード入力手段から入力されたIDコードを照合する

【0014】

【実施例】 以下、図面を参照して本発明のIDコード照合装置の実施例を説明する。

【0015】 図1は、本発明のIDコード照合装置の一実施例の構成を示す。

【0016】 図1のIDコード照合装置は、照合手段の一部を形成する中央処理装置(CPU)11、CPU11に接続されており予め設定されたIDコードとエントリーパスしたIDコードを記憶する記憶手段であるランダム・アクセス・メモリ(RAM)12、CPU11に接続されておりキー操作、IDコードの照合手順をプログラムした照合手段の一部を形成するリード・オンリー・メモリ(ROM)13、CPU11に接続されたモード・スイッチ14、及びCPU11に接続されたIDコード入力手段であるキー入力部15によって構成されている。

【0017】 次に、図2のフローチャートを参照して、図1のIDコード照合装置の動作、特に、予め設定されたIDコードが4桁の数字(本実施例では“1234”)の

3

場合においてキーエントリーしたIDコードの照合の動作を説明する。

【0018】まず、キー入力部15によりキーを入力し（ステップS1）、入力されたキーが4桁か否かを判別し（ステップS2）、上記ステップS2で入力されたキーが4桁ではないと判別された場合（NO）には上記ステップS1に戻り、上記ステップS2で入力されたキーが4桁であると判別された場合（YES）には、入力されたキーが予め設定されたIDコードと一致するか否かを判別する（ステップS3）。

【0019】上記ステップS3で入力されたキーが予め設定されたIDコードと一致する場合（YES）には、後述するように照合エラーとして処理を終了する。

【0020】上記ステップS3で入力されたキーが予め設定されたIDコードと一致しない場合（NO）には、前回エントリーしたIDコードと一致するか否かを判別し（ステップS4）、上記ステップS4で入力されたキーが前回エントリーされたIDコードと一致する場合（YES）には後述するように照合エラーとして処理を終了し、上記ステップS4で入力されたキーが前回エントリーしたIDコードと一致しない場合（NO）には各文字を照合して一致するか否かを判別する（ステップS5）。

【0021】上記ステップS5で各文字を照合して一致した場合（YES）には、エントリーされたIDコードを記憶して（ステップS6）、照合OKとして終了する。

【0022】また、上記ステップS5で各文字を照合して一致しない場合（NO）には、エントリー回数が2回以内であるか否かを判別し（ステップS7）、上記ステップS7でエントリー回数が2回以内である場合（YES）には上記ステップS1に戻り、上記ステップS7でエントリー回数が3回以上である場合（NO）には照合エラーとして処理を終了する。

【0023】図3は、図1のモードスイッチ14の一構成例を示す。

【0024】図3に示すモードスイッチ14は、全回転する鍵を設けてキー入力部15から入力されたIDコードのエントリーによって各々のモード位置（A～G）に対応する操作可、操作不可をプログラムの決定するように構成されている。

【0025】上記モードの種類の一例として、コンピュータのデータベースのアクセスを、

4

A：記憶されているデータの読み出し

B：記憶されているデータの変更

C：記憶されているデータの削除

D：新しいデータの入力

E：新しいデータの変更

F：新しいデータの削除

G：全操作のアクセス

として設定した場合、入力されたIDコードがモードAのみを指定しているものであれば、データベースに記憶されているデータのみがアクセスされるので、データベースの利用者は変更や削除などの不正使用ができず、データベースが管理者以外の者によって不用意に変更、削除されることを防ぐことができる。

【0026】

【発明の効果】本発明のIDコード照合装置では、予め設定されたIDコードを記憶する記憶手段と、IDコードを入力するIDコード入力手段と、IDコードを形成している各数字または各文字を個々に照合して記憶手段に記憶されているIDコードとIDコード入力手段から入力されたIDコードとを照合する照合手段とを備えているので、予め設定された固定のIDコードに対してキーエントリーするIDコードを不定することによって、例えば第3者がIDコードを知り得た場合に不正使用を防止できる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明のIDコード照合装置の一実施例の構成を示すブロック図である。

【図2】図1のIDコード照合装置の動作を説明するためのフローチャートである。

【図3】図1に示されているモードスイッチの説明図である。

【図4】従来のIDコード照合装置の一構成例を示すブロック図である。

【図5】図4のIDコード照合装置の動作を説明するためのフローチャートである。

【図6】図4のIDコード照合装置に用いられるモードスイッチの説明図である。

【符号の説明】

11 中央処理装置（CPU）

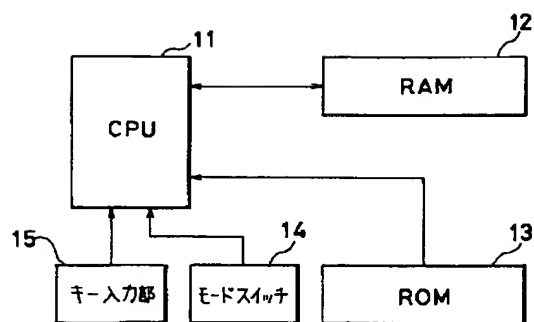
12 アンダム・アクセス・メモリ（RAM）

13 リード・オンリー・メモリ（ROM）

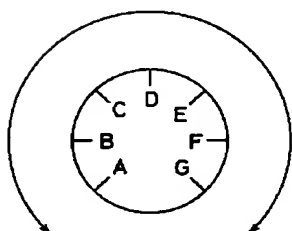
14 モードスイッチ

15 キー入力部

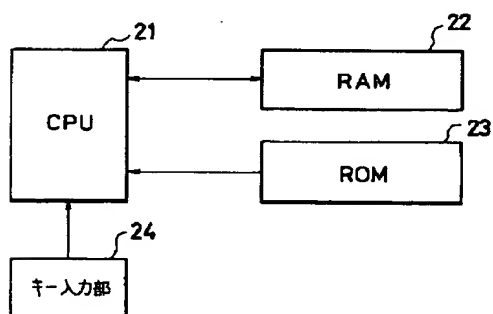
【図1】



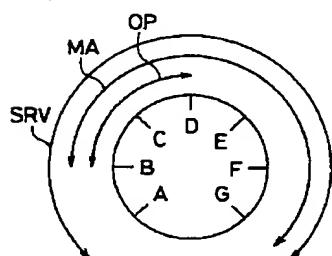
【図3】



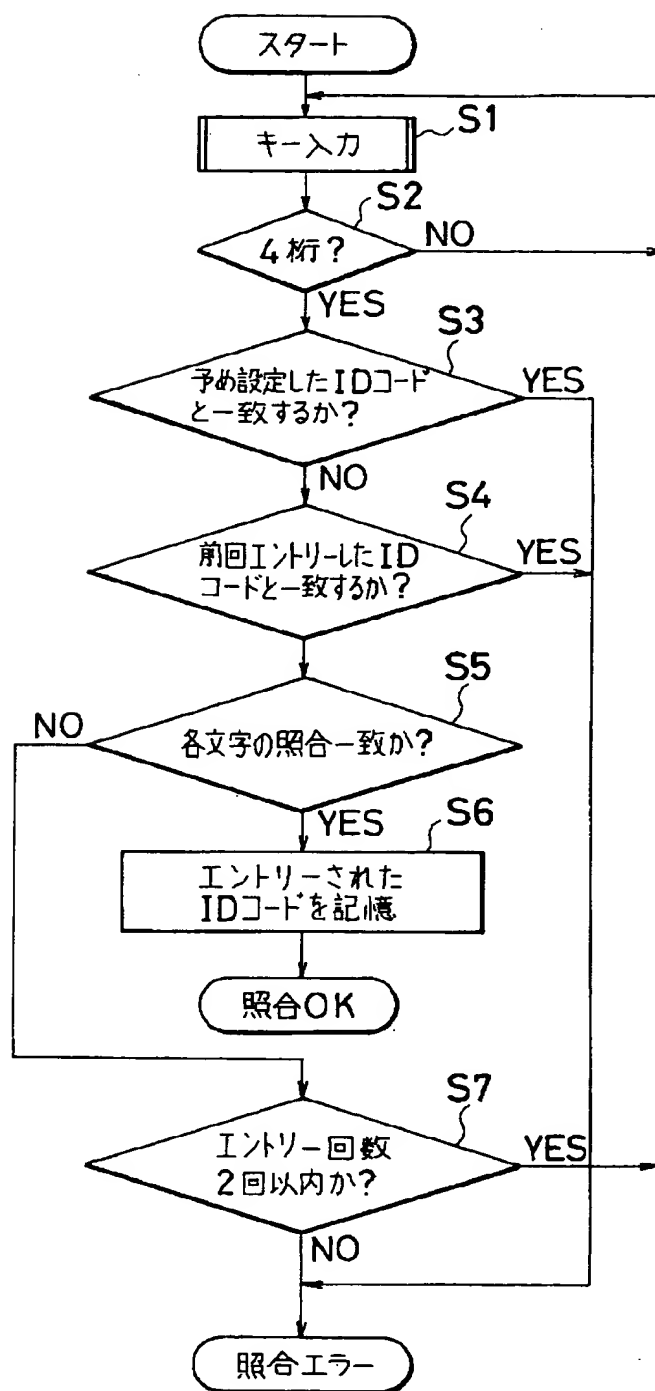
【図4】



【図6】



【図2】



【図5】

